



私たちは花が好き。緑が好き。人が好き。

園芸福祉ふくおかネット

No.48

2018年7月号

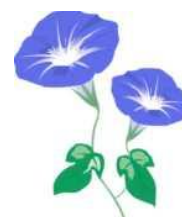
ネット通信 花 便 り



受賞の喜びを分かち合う会員たち（園芸福祉の庭にて）

目次

受賞報告	P2
シンポジウム in おかやま	P3
市役所玄関前花壇の様態替え	P4
きゅうでん Play Forest 2018 in 舞鶴公園にて	P5
園芸福祉の庭定例作業に参加	P6
クラフト部報告	P6
実践事例発表会	P7~P8
「園芸福祉くるめの活動」	
「アジサイの花～始まった活動」	
病院の庭で「癒しの庭づくり」	
「園芸福祉活動でアクティブシニアの仲間入り」	
事務局からのお知らせ	P9



国土交通大臣表彰の報告

谷口 博隆



園芸福祉ふくおかネットは、国土交通大臣表彰を受賞いたしました。このことは平成16年7月設立以来アイランドシティ中央公園の園芸福祉の庭の提案を起点として、多くの会員が永く、広く活動を展開してきたことを評価された結果であり、大変光栄なことでございますのでご紹介いたします。

5月26日(土)皇太子同妃両殿下のご臨席のもと、第29回全国「みどりの愛護」のつどいの式典は滋賀県立長浜ドーム、記念植樹は琵琶湖湖岸緑地において開催されました。私の随行者として園芸福祉ふくおかネット

ト設立当初から長年にわたり役員として貢献してある黒瀬 恵子さん、同行者は緑のまちづくり協会職員の肥後谷さんの3名が福岡市の受賞団体として出席しました。

宿泊するホテルは皇太子ご夫妻もご宿泊になることから沿道には歓迎の人々や警衛警備の方などで緊張はしましたが良き思い出になりました。

式典会場では、ウェルカム演奏や子ども歌舞伎の三番叟が披露され、国歌斉唱、大臣などの挨拶があり長浜市立



入口パネル前にて

びわ中学校 PTA がヨシ群落の再生を目指

す「ヨシ行けどんどん作戦」の活動事例を発表。国土交通大臣表彰式では「みどりの愛護」に顕著な功績があった全国の106団体に感謝状が贈られました。

皇太子殿下は、緑は温暖化の防止や生物多様性の保全、環境の改善や災害防止に役立ち、暮らしにゆとりと潤いをもたらす。みどりの愛護は大変に意義が深い、守り育て発展することを願います。と述べられました。式典は小学生2名による誓いの言葉で終了しました。



つづいて琵琶湖湖岸緑地の記念植樹会場に移動し、皇太子ご夫妻の後方で植樹しました。写真を撮っていたら係の方が植樹用の金色のスコップを持って来て、シャッターも押してくださいました。特段のご配慮に感謝しつつ記念写真に納まることができました。

記念植樹を終え見学バスで彦根城に向かいました。井伊家が20年かけて建設したこの城は国宝に指定されている優美な天守があり、中堀と内堀に守られた城跡は広大で緑も多く、桜の季節はきれいな景観が楽しめるだろうと思いました。今回の受賞を励みに、花や緑を活用した福祉的活動、社会貢献などを広く展開していきたいものです。



記念植樹前にて

シンポジウム in おかやまに参加して

黒瀬 恵子



6/9(土)・6/10(日) 第17回 園芸福祉シンポジウム in おかやま『人と人がつながる園芸の輪』が行われ、谷口代表と参加しました。初日の会場は市内の「ピュアリティまきび」で、総会が午前中に行われ、午後からのシンポジウムは、岡山県立高松農業高校郷土芸能部による最上太鼓の歓迎演奏で始まり、若さ溢れる高校生の打ち鳴らす太鼓の鼓動が会場内に響き渡り、早くも参加者の心が一つになるようでした。



高松農業高校生徒による太鼓演奏で歓迎

基調講演は「福祉の心は園芸にあり」と題して、社会福祉法人旭川荘の末光茂理事長よりお話を頂きました。お母様が1本の草も生えていないようにきれいに管理されていたご自宅の庭を、今では奥様と毎朝5時に起き、奥様の不得手な部分は末光氏が引き受けてご一緒にされているそうです。時折笑みを浮かべながら穏やかな口調で話される末光氏のお人柄が見て取れるようでした。

事例発表では、NPO 法人岡山園芸福祉普及協会会員有志の皆さんが、障がい者施設の子も達や職員の方と一緒にやって野菜づくりや稲づくりを始め、食育まで発展している事例や、グループホームの施設職員の方が、初級園芸福祉士養成講座を受講したことがきっかけで、閉じこもりがちな入居者さんが少しでも外に出て行けるように園芸福祉活動を始められた事例をお聞きすることができました。



岡山県指定重要無形民俗文化財「太鼓田植」の様子

ミニワークショップの「スプラウトを作ってみよう！」では、時間の関係で体験は出来ませんでした。ライブでスプラウトの作り方を学ぶことが出来ましたし、材料や資料のお土産まで頂きました。

翌日の岡山後楽園見学は、雨の予報が出ていたものの「岡山は晴れの国」と言われるだけあって、傘をさすこともなく、お田植え祭まで見学することが出来ました。

今回のシンポジウムに参加し、改めて園芸福祉について考えてみました。園芸福祉とは、園芸をとおして自分がしたいことをするのではなく、園芸をとおして自分が相手に何が出来るのかを考え行動すること。

そこには相手への思いやりがあること。それは相手が健常者であっても障がい者であっても一緒なんだと言うこと。シンポジウムへの参加が良い気付きになりました。「シンポジウム in おかやま」の関係者の皆さま、ありがとうございました。

この度の西日本を中心とした豪雨で亡くなられた方々に哀悼の意を捧げますとともに、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。被災地の方々におかれましては、一日も早い復旧がなされますことをお祈りいたします。

平成30年7月20日

園芸福祉ふくおかネット 役員一同

福岡市役所玄関前花壇の様式替え

二俣 はるみ

5月に宿根草以外の植え替えがあり、気分も新たに手入れ作業が始まりました。マリーゴールド、ベゴニア、バーベナが季節の花として植えられ、色彩もあかるく、マリーゴールドの黄色とベゴニアのピンク系の色の取り合わせが好きで癒されます。



植え替え後、半月位で作業に入りましたが、蒸れたのか、虫のせいなのか既に弱ったものがあるのには驚きでした。大量の花を植える花壇では仕方のない事なのかもしれませんが・・・。

宿根草も大きくなったり、花が終わったり、咲かせたりと花壇を変化させています。変化とともに昆虫が増え、蝶が来る生物共生の花壇が出来ることを期待したいです。

市役所花壇に限らず、花の手入れをしているといろいろな方から声を掛けられます。「お疲れ様」、「ありがとう」、「綺麗(花が)」、「花の名前は?」、「手入れのしかたは?」。花好き同志、話がはずみます。こんな交流があるから、うれしくなって少々腰が痛くても続けられます。次回の植え替えではどんな花で模様替えになるか、楽しみです。



街中の花壇でレモンの花、レモンの小さな実を見ることができます。天神にお出かけの際、探してみませんか。



きゅうでん Play Forest 2018 in 舞鶴公園にて

米倉 治美



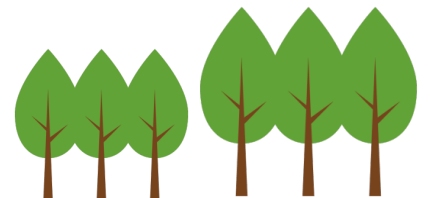
5月13日(日)九州電力主催の『きゅうでん Play Forest 2018 in 舞鶴公園』が開催されました。この日は朝から雨にも関わらず、事前に申し込まれていた方々で大盛況。『豊かな森で心いっぱい楽しんで、森と友だちになろう!』をコンセプトに小学生とその親子を対象に、わくわく木登り体験、マイはし作り、森の木を使ったキーホルダー作りなど沢山のプログラムが準備されていました。

今回、園芸福祉ふくおかネットもイベントに参加させていただき「種でお絵描き」、竹の器を使った「多肉植物の寄せ植え」体験を行いました。

谷口代表が竹の切り出しからケガをしないように、竹の研磨や塗装などの下準備をしてくださった竹の器は大人気。テントの中には次々と「作ってみたい!」と小学生の親子やカップルが訪れ賑わっていました。



イベントも終わりに近づき片付け準備をしていると、同イベントに参加されていた公益財団法人「オイスカ西日本研修センター」の方が沢山の花苗をくださいました。私たちが頂いたお礼に「多肉植物の寄せ植えをされませんか」とお声かけしました。いろいろなアジアの国から、農業の勉強に来られている皆さんも多肉植物の寄せ植えに関心があるようで、熱心に作られていました。園芸福祉ふくおかネットとオイスカの若者たちとの楽しい国際交流ができ、素晴らしい一日となりました。



園芸福祉の庭定例作業に参加

須賀 陽子

6月24日(日)アイランド中央公園内の定例作業に参加しました。5月から作業時間が1時間前倒しされたこともあり、幾分暑さをしのげる作業スタートでした。各花壇の作業時間も全員で取り組むため、かなり捗るスピードが増したと思います。ポータチュラカやマツバボタンの色や配置を工夫して、各ステージに植え込みました。



熱中症対策の為、役員の方々が準備してくださったお茶やコーヒーで喉を潤しながら楽しく作業を終えることができました。

印象に残った花が一つあります。アーティチョークの見事な咲きっぷりです。「アーティチョーク」キク科チョウセンアザミ属学名 Cynaro (キナラ) ギリシャ語の Cyna (犬) からきており、花の周囲の棘が犬の歯に似ていることに由来している。

多年草で花言葉は「警告、独立」。お時間がありましたら足を運ばれて、この見事な花を觀賞されて下さい。

多年草で花言葉は「警告、独立」。お時間がありましたら足を運ばれて、この見事な花を觀賞されて下さい。

園芸福祉ふくおかネットクラフト部報告

井上 妙子

6月22日(金)福岡市ボランティアセンターあすみんで「こけ玉づくり」体験講座を開きました。女性3名、男性2名 計5名の方が参加されました。あすみん事務局の方は一人で2個も作ってくれました。使用植物はヒューケラ、フィリヤブコウジ、モミジ、メギ。添物にミスキャンタス。作り方は2種類の植物をきれいに丸めて仕上げる為、使い捨ての容器(お椀型)を使用。

一人の男性の方が始めから終わりまでずっとカメラで撮影され、もう一人の男性は「子どもに教えます」と植物以外3セットを持って帰られ、苔はどこで入手できるのかを聞かれ、参加されていたネット会員の須賀さんが「〇〇で買えますよ」と答えて下さいました(店名を忘れまして)。

講座後昼食で食べた「福新楼」のトマトラーメン、とても美味しかったです。



実践事例発表会

『園芸福祉くるめの活動』 平山 政子

10人ほどで活動していますが、ふくおかネットの会員は昨年3名でした。今年の活動として、大きく三つあげます。

一つは朝倉医師会病院緩和ケア病棟の屋上花壇の手入れです。H24年から月に2回、続けています。屋上という場所で大変なところもありますが、病院スタッフの協力もあり、去年はタイマーで灌水していただけるようになりました。中央に正方形の花壇、周りのフェンスに沿って7個の長方形の花壇があります。入口から目につく前面に季節の花を植え、横はギボウシなどの緑の花壇、ハーブ園などにしています。

二つ目は、コケ玉教室です。毎年11月に久留米市花市場で行っています。参加者は50～60人です。今年だけの依頼でコケ玉教室をしました。一つは、八女農業高校同窓会女性部「ひいらぎの会」20名の参加でした。もう一つは黒川山荘、（古民家のそばや）での教室、参加は20名でした。その直後に北部九州豪雨で、周辺は多大な被害をこうむりました。

最後に会員間の研修です。会員の大きな楽しみになっています。H30、3、13に日本蘚苔類学会会員の角先生のお話を聞くことができました。「苔についてもっと知りたい」という会員の望みを少し叶えられることができました。地面に這いつくばって、ルーペから覗く苔の世界にはびっくりしました。「ワー可愛い」と大騒ぎでした。機会があれば、また、苔探索をしたいと思っています。久し振りに総会と実践報告会に出席して活気ある福岡の活力を感じることができ感謝しています。



『アジサイの花～始まった活動』 田中 節子

園芸福祉ふくおかネット第15回通常総会にて事例発表の機会をいただきました。

私たちの会「ふくおか花と緑の連絡会」ができるまで。会、個人で始めたデイサービス2か所のフラワーアレンジ講座の紹介と地域コミュニティにつながる町内の公園（周囲1km）の花壇の紹介。

一人で始めた面積30㎡の花壇は樺2本が枯れた後、クローバーと茅でいっぱい区画でした。草取りから始めた区画は散歩中の人から「どんな花壇になるのか楽しみです」「お疲れ様です」と励ましの言葉をかけていただきながら一人で活動してきました。

半年後草取りや花植えが好きな地域会員さんの参加が始まり、2年目になる今年は5人の参加がありました。定例作業日も決定しました。

花好きさん集合！！これが町内のコミュニティ作りの始まりとなりますように企画中です。

デイサービスのフラワーアレンジ講座は3年目に入りました。毎回みなさんが楽しみに待ってくださっていますので、まだまだ頑張ってお届けしたいと思います。

発表は大変でしたがまとめることで振り返りとなり課題も見つかりました。よい機会をいただき今後の活動に役立てたいと思っています。園芸福祉ふくおかネット会員の活躍が広がりますよう願います。有難うございました。



病院の庭で『癒しの庭づくり』 山崎 博子

平成13年から始まった九州がんセンターの「癒しの庭づくり」は今年で18年目。「花の仲間たち」の会員は現在20名です。3年前に新しく病院が建て替わり、花壇も新しい場所での出発となり遊歩道に沿った320㎡の庭を管理しています。

新花壇は7つの区域に分けて担当別に割り振りをし、患者さんが元気になってもらいたいとお日様をイメージした花壇を設計しました。各人の自由な発想で花デザインをしますが17年間の実績からでしょうか、全体で見ると一つにまとまっています。リハビリ室から見える花壇は、病室内から見ることを意識した花壇になっています。旧花壇から持ち込んだオブジェや工事現場から要らなくなったレンガなど費用を掛けず材料を調達して、日々進化し続けています。

お日様花壇の半円形は春を知らせる菜の花、夏の暑さに輝くヒマワリの黄色は患者さんに元気を与えてくれているのではないのでしょうか。

いやしの庭の様子は、院内テレビ「癒しの小窓」で紹介されています。退院したら、「私も花が大好きなので参加させてください」と患者さんからの入会申し込みもあります。

私たちは、患者さんが喜んで下さり、感謝の言葉をかけていただくとき、とてもやりがいを感じます。いくつになっても、自分の好きなことに夢を一杯広げて、少しは人の役に立てることを期待し、明日も「園芸福祉」の心で、私自身も元気に花と共に歩いていきたいと思っています。



『園芸福祉活動でアクティブシニアの仲間入り』

須賀 陽子

私もこの団体での活動が3年目になりました。会員の皆様の活発な活動を拝見しつつの行動ではありましたが、一番強く感じたことが一つあります。それはひとりひとりが常に矜持を持って行動しておられるということです。

今年は福岡市が一人一花運動をスタートしたこともあります。市の顔とも言える市役所玄関前花壇の管理という大役を任されるということも加わり、一段と身の引き締まる思いで毎回楽しく手入れさせていただいているところです。

この2年間で並行して学んだことを生かした活動もあります。家の近くの荒れた花壇を2カ所美しい花壇に再生して地域の方々に喜んでいただいた事です。

どう課題を見つけ解決していくかを自らの行動で見出せたことは大きな自信にも繋がりました。アクティブシニアに求められている5つのこと（日本アクティブシニア協会）

1. 体の健康
2. 心の健康
3. 自己管理・自立
4. センス…ずっとかっこいい大人でいてください
5. 豊富な経験のシェア（知恵や知識をシェアしてほしいと望まれる）

この5つのことを考えながらもワクワク感を持ちつつ活動して参りたいと思います。





事務局からのお知らせ

▶ 園芸福祉ふくおかネット定例会

- 毎月/第3(土) 15:00~17:00
- ところ/福岡市NPO・ボランティア交流センター「あすみん」天神クラス4階
事業活動報告と計画、会員の活動状況、園芸福祉活動の情報交換、作品紹介など。
- 定例会の後は「ちょっと一杯!」へ。
楽しい会話が弾む飲ニケーションで盛り上がってま〜す。気軽にお越しください。

▶ 「園芸福祉の庭」定例作業日

- 定例作業/第2金曜日・最終日曜日
(10月まで 9時~11時)
- ところ/アイランドシティ中央公園
園芸福祉の庭 (福岡市東区香椎照葉4丁目)
活動内容は花壇の維持管理(花がら摘み、除草、花苗植込み・撤去、水やり、施肥など)。
作業後は茶話会。活動近況や花の育て方・土づくり、園芸福祉に関するプチ勉強会など。
- 豪雨や気象災害などが予想されるときは中止、次週に変更です。(小雨決行)

▶ 入会手続きのご案内

- 入会を希望される方は事務局(下記掲載)にご連絡下さい。その後下記の口座に年会費2,000円をお振り込み頂き、入金確認後に入会となります。
- 活動と一緒にされているお仲間やお友だちなどで、まだ園芸福祉ふくおかネットの会員でない方がいらっしゃいましたらお気軽にお誘いください。
- お振り込み先/ 西日本シティ銀行 小笹支店
店番 222 普通預金
口座番号 1025817
園芸福祉ふくおかネット 代表 谷口 博隆



● 園芸福祉ふくおかネット事務局 ●

〒810-0033 福岡市中央区小笹 1-9-25

TEL : 090-8626-1586 (黒瀬)

FAX : 092-521-6247

E-mail : engeifukusi.fukuoka@hya.bbiq.jp

URL : <https://www.engeifukusi-fukuoka.net/>

花便り 第48号 平成30年7月20日

編集・発行/ 園芸福祉ふくおかネット